

日本のBaby Boxの現状と課題

慈恵病院 蓮田 健

慈恵病院の紹介

病院長： 蓮田太二

職員数： 234名（医師13名、看護師105名）

診療科： 産婦人科、内科、小児科、麻酔科

年間分娩件数(2016年)： 1714件

慈恵病院設立 1989年

ハンセン病患者を救うためにローマから派遣されたコール神父と5人のシスターによって設立された。

修道会の活動

- ・ハンセン病患者のケア
- ・孤児の保護や養育

日本の社会について(2017年)

人口： 1億2600万人(2017年)

出生数： 97万人(2016年)

民族構成： 大多数(98%)が大和民族

宗教構成： 50～70%は無宗教

文部科学省の宗教統計調査では、

神道系48%

仏教系 46%

キリスト教系 1%

日本の経済レベル

- 日本人の平均年収は420万円(2016年)
- 「1億総中流意識」
国民の90%が自分の生活レベルを中流と考えているが、実際には格差が広がり、
2014年の「相対的貧困率」は16.1%に達している。

日本の子どもをとりまく環境

- ・児童相談所が対応した虐待件数は12万件(2016年)
- ・親が育てられない子どもは46000人(2016年)
このうちほとんどが施設で生活する。
里親に育てられるのは12%(2010年)
アメリカ77%、ドイツ50%

日本における「望まれない命」

1年間に生まれる赤ちゃん 約**97万人**

1年間に行われる人工妊娠中絶 約**18万件**

棄児(捨てられた子ども)(2001~2007年) **27~66**件/年
検挙事件に関わる出産直後の殺人・殺人未遂・遺棄
(2007~2013年) **7~13**件/年

年間100~300人の赤ちゃんが殺されたり遺棄されているのではないか？

2005～2006年
熊本で新生児遺棄事件3件あり

2人の赤ちゃんが亡くなり
母親は有罪になった



Baby Box設置を決意

Baby Box設置に当たっての問題点

預け入れた親が保護責任者遺棄罪に問われないか？

慈恵病院が保護責任者遺棄ほう助罪に問われないか？

刑法218条

「老年者、幼年者、身体障害者または病者を保護する責任のある者がこれらの者を遺棄し、またはその生存に必要な保護をしなかったときは、3ヶ月以上5年以下の懲役に処する」

司法、行政の見解では、
「Baby Boxへの預け入れは保護責任者遺棄罪に
あたらない」

赤ちゃんを預け入れれば、看護師が直ちに駆けつけ保護する。
また医師が診察を行い、必要な処置を行う。
警察、市役所、児童相談所にも連絡する。

預け入れた赤ちゃんの保護が保証されているので、
預け入れによって赤ちゃんを危険にさらしてはいない。
よって罪には問われない。

Baby Box活動の許可

- Baby Box活動のスタートにあたって、行政には許認可の権限はない。
- 病院は施設の機能を変える時に、行政(市役所)に変更手続きを行わなければならない



Baby Boxを始められるかどうかは、
熊本市の判断にゆだねられた

熊本市長は許可

「ただちに関係法令に違反しているとは言い切れず、許可しない合理的な理由はない。
現実に新生児が遺棄されている事態が起きており、子どもの命を守る最終手段として必要」

政府からは消極的なコメントが多かった

安倍総理大臣は、

「ポストという名前に大変抵抗を感じる。

親として責任を持って産むことが大事ではないか。

すでにそういうお子さんに対応する施設等もある。

匿名で子どもを置いていけるものを作るのがいいのかどうか。」

日本のBaby Box:「こうのとりのゆりかご」

こうのとりのゆりかご: 日本の迷信では、赤ちゃんを運んでくる鳥とされている
ドイツの逸話に由来する

ゆりかご: 赤ちゃんをあやすためのベッド
Cradle(英語)、Wiege(ドイツ語)

公式には「こうのとりのゆりかご」だが、
一般的には「赤ちゃんポスト」と呼ばれることが多い



匿名で「このとりのゆりかご」に預けずに
インターホンで相談して欲しい

預け入れた親を見つけることができれば、
病院内で事情を聞き、今後の相談をする

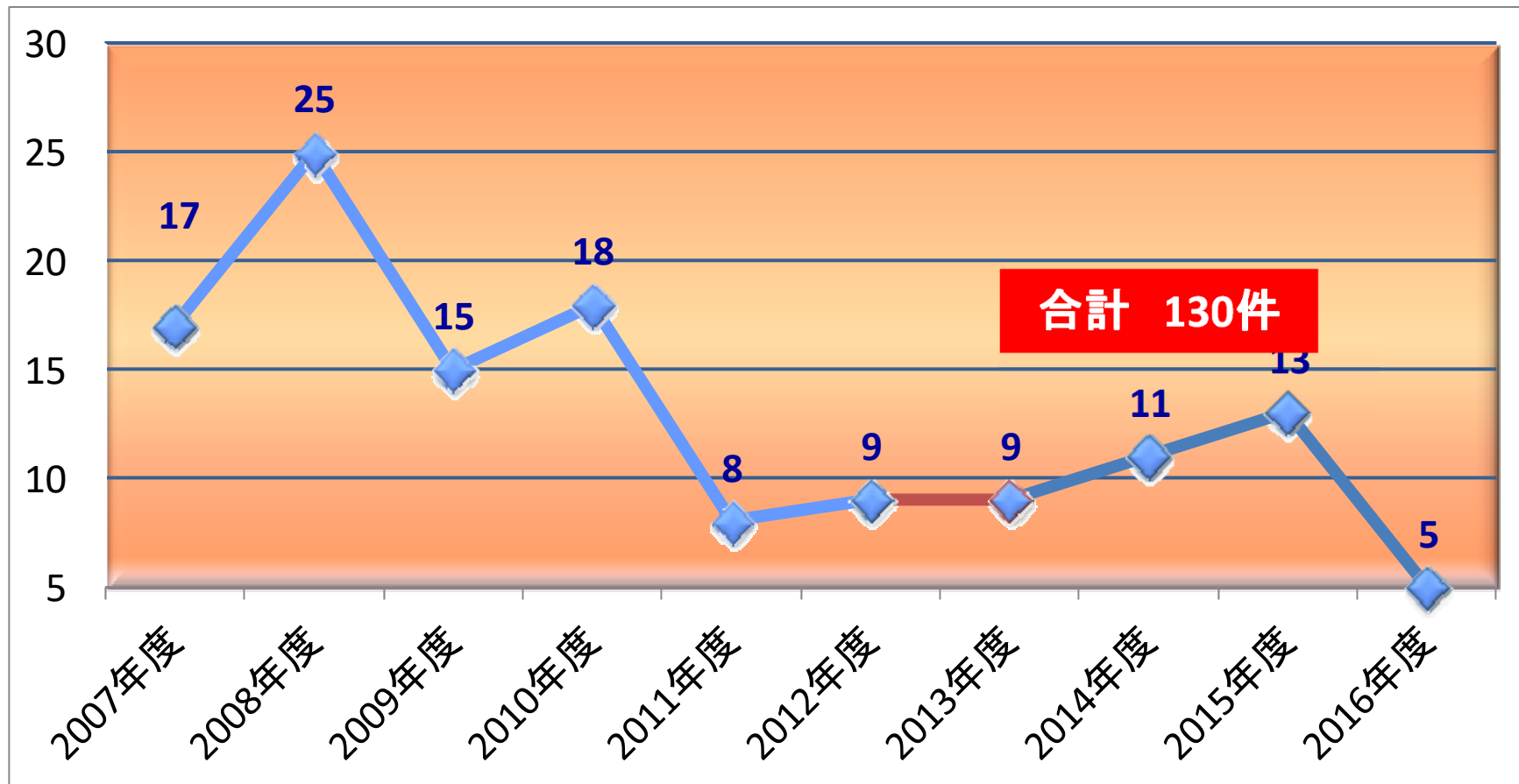
赤ちゃんの安全のために

ナースステーション、新生児室では
テレビモニターで監視

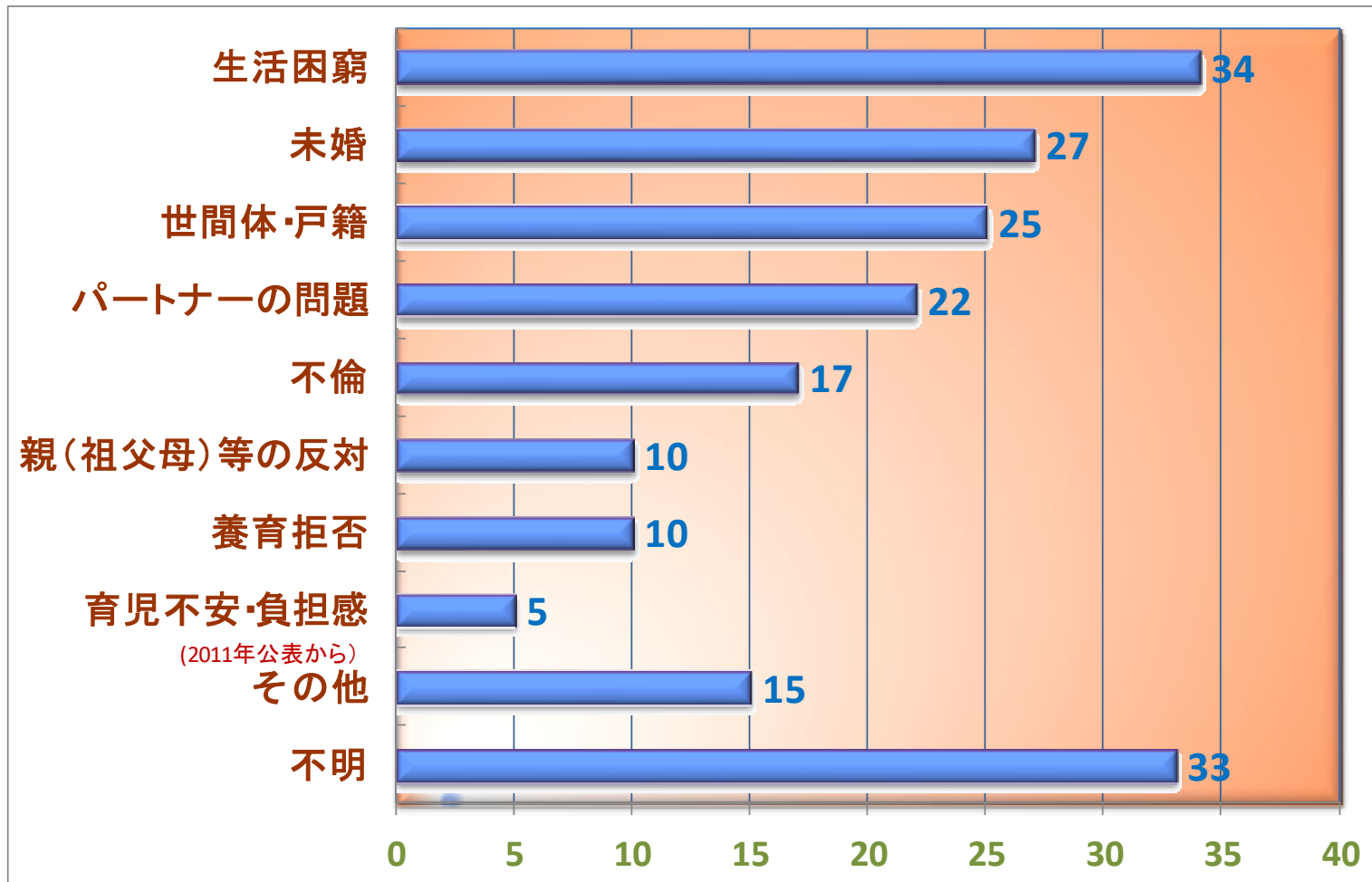
赤ちゃんの安全のために

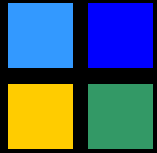
看護師が1日3回機械類の点検を行います

赤ちゃんの預け入れ件数



ゆりかごを利用した理由(複数回答)





こうのとりのゆりかご フローチャート

ゆりかごに赤ちゃんが置かれる



スタッフが駆けつけ赤ちゃんを保護する



医師へ連絡



医師による健康チェック



看護師長へ連絡



看護部長



熊本市児童相談所

警察署

赤ちゃんの行方

児童相談所

乳児院

(3歳になるまで)

児童養護施設

(18歳になるまで)

里親

特別養子縁組

その後
社会へ

預けられた子どもの状況

(単位:人)

子どもの養育の状況	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	小計
乳児院等施設への養育委託	4	5	2	4	1	2	2	3	1	4	28
里親への養育委託	5	3	1	1	2	2	3	1	7	1	26
家庭に引き取り養育	0	5	3	4	3	2	0	3	3	0	23
特別養子縁組の成立	6	12	8	7	2	3	4	4	1	0	47
その他	2	0	1	2	0	0	0	0	1	0	6
小計	17	25	15	18	8	9	9	11	13	5	130

2017年9月 熊本市検証委員会公表

「こうのとりのゆりかご」に預けると□

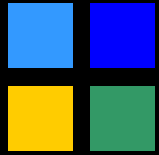
赤ちゃんは乳児院など施設で育てられる可能性がある

産みの親を知ることができない子どもには、育ての親の存在が必要

「こうのとりのゆりかご」に預けずに、慈恵病院に相談して特別養子縁組にしてもらいたい

SOS電話相談窓口

24時間365日体制
フリーダイヤル



慈恵病院

SOS赤ちゃんとお母さんの相談窓口

	相談受付件数
2007年度	501 件
2008年度	472 件
2009年度	513 件
2010年度	591 件
2011年度	690 件
2012年度	1000 件
2013年度	1445 件
2014年度	4036 件
2015年度	5466 件
2016年度	6565 件
計	21279件

慈恵病院 特別養子縁組

294人

(2007.4.1~2017.3.31)

年度別

2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
26	30	27	30	21	33	37	33	31	26

「こうのとりのゆりかご」に対する批判

- ・親が子どもを捨てることは倫理的に許されない
- ・安易な育児放棄を助長し、育児放棄が社会に蔓延する
- ・「『出自を知る権利』」を損なう
- ・危険な孤立出産を助長する
- ・出産直後の母子が遠方から移動するのは危険

しかし、批判する人達は、「秘密を守り通すために必死の母親」に対して、**Baby Boxに代わる手段**を提供できていない。

「こうのとりのゆりかご」を社会はどう見ているか？

【一般社会】

10年前に比べて批判よりも応援の声が多くなった。
一方、他国の社会に比べ、無関心の傾向がある。

【マスコミ】

「赤ちゃんの命を救うシステム」という事で評価される一方、
「出自を知る権利を損なう」
「危険な自宅出産のきっかけになる」
「赤ちゃんの遺棄・殺人の防止として機能していない」
との批判的な論調もある。

【政府】

熊本市役所は再三に渡って政府の関与を求めているが、反応はない。

「こうのとりのゆりかご」運営上の問題点

1. 赤ちゃんを直接里親の家庭に託したいが、ほとんどの赤ちゃんが乳児院で育てられる。
2. 預け入れられた赤ちゃんの情報公開がほとんどなされていないため、その後の状況を知ることができない。
情報がなければ、このシステムの是非について議論できない。
3. 赤ちゃんの預け入れ数の減少。
若い年齢層に対する「こうのとりのゆりかご」の認知度低下
4. 熊本市の再三の要請にも関わらず、国(政府)が関与しようとならない。
5. 病院の運営費用負担
年間運営費約2000万円
寄付500～600万円
病院拠出約1500万円

「こうのとりのゆりかご」の今後

応援されるだけでなく、課題と批判も抱えています。

妊娠・出産の秘密を絶対に知られたくない女性にとって、大事な**セーフティーネット**です。**駆け込み寺**です。

これからも母子の助けになるように努力を続けたいと思います。

ご静聴いただきましてありがとうございました

JIKEI HOSPITAL
Advanced medical and Cordial care

医療法人聖粒会
慈恵病院

